Rocket® software

IBMメインフレームアプリケーションのテスト環境

Rocket® Enterprise Test Server

(formerly a Micro Focus® product)

Enterprise Test Server は、IBM メインフレーム互換の JCL/CICS/IMS 実行機能を搭載し、IBM メインフレームの COBOL アプリケーションの統合テストを Windows 上で実行する製品です。大規模なバッチ / オンラインアプリケーションのテストを IBM メインフレームからオフロードすることで、低コストで COBOL アプリケーションの品質向上を実現します。

概要

IBM メインフレームは現在でも日々世界のビジネストランザクションの主要な部分を担って稼働し続けています。メインフレーム上の基幹システムは、多くの企業にとってその業務の心臓部分を担うものであり、欠くことのできない経営資源となっています。

しかしながら、一般にメインフレームアプリケーションの保守には多くの人的・コンピューティング資源を必要とし、アプリケーションの品質を確保するために多大なランニングコストを必要とします。各開発者が Enterprise Developer を利用することでアプリケーションの単体レベルの品質の確保に貢献することができますが、それでも実稼働に先立って多数のテストケースをメインフレーム上で繰り返し実行するには多くのコンピューティング資源を必要とします。

Enterprise Test Server 環境でテストを行うことにより、低コストで IBM メインフレーム上の COBOL アプリケーションの品質向上を実現します。

製品の特長

1. Windows上の「仮想IBMメインフレーム」

Enterprise Developer で開発したアプリケーションを Enterprise Test Server 環境に移行することによって、Windows サーバーを「仮想 IBM メインフレーム」としてパーソナルコンピュータでは実行することのできない大規模バッチやマルチユーザーオンライン処理の統合テストが可能です。この「仮想 IBM メインフレーム」は、3270 エミュレーターからのオンライン処理、CICS ISC プロトコルによる Java/.NET からのアクセスおよび JCL のサブミットを IBM メインフレームと同様に受け付けます。テスターから見ると現実の IBM メインフレームと区別がつきません。

2.大規模テストを許容

Enterprise Test Server は要求される統合テストの規模に応じて、巨大なメモリ・CPU コアを割り当てられた Windows サーバーにインストールして利用することができます。IBM メインフレーム上の実アプリケーションの運用に一切影響を与えることなく、どんな大規模なバッチ・オンラインテストも処理することができます。

3.IBMメインフレームの省資源化

Enterprise Test Server 下の結合テストによってロジックの正当性が保障されたアプリケーションは、IBM メインフレーム上で再コンパイルされ実稼動に入ります。マルチユーザーによる大規模な統合テストで十分に品質チェックされたアプリケーションは、高い確率で IBM メインフレーム上でも正しく稼動しますので、コンパイル・テスト・デバッグで消費する IBM メインフレーム資源の節約に貢献します。

主な機能

1.IBMメインフレーム互換性ランタイム

Enterprise Developer に内蔵されている COBOL コンパイラは、IBM メインフレームのクロス開発で半世紀にわたって活用されてきた実績があります。

Enterprise Test Server が内蔵する COBOL ランタイムは、IBM メインフレーム上の実稼働環境で使用する IBM COBOL ランタイムの各バージョンに対して高い互換性を持っています。

このため Enterprise Test Server でテスト済みのプログラムは、IBM メインフレーム上の再コンパイルでも非常に高い確率で正しく動作します。

2.JCL/CICS/IMSのテストサポート

JCL、CICS、IMS についても「仮想 IBM メインフレーム」環境が IBM メインフレームと互換性のあるテスト環境を提供しています。

JCL 環境では SORT、GENER、AMS などの IBM 標準ユーティリティのエミュレーションをサポートしており、ジョブ全体の流れに沿った大規模な処理をテストすることができます。

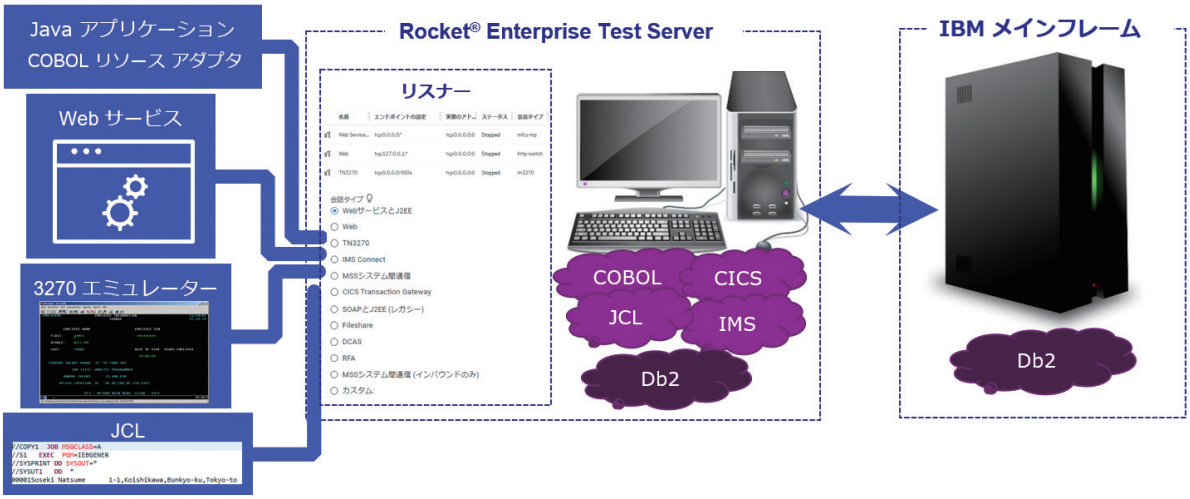
CICS 環境では EXEC CICS コマンドの多くをサポートしており、実際に 3270 エミュレーターから BMS 画面を通じて COBOL トランザクションプログラムを起動してテストすることができます。

IMS 環境では、単体テスト用の IMS データベースを PC 上でローカルに作成するか、IBM メインフレーム上でアンロードされた IMS データベースを Enterprise Test Server の IMS 環境にロードすることで実運用環境と同様の IMS アプリケーションの単体テストが可能となります。COBOL プログラムは IBM メインフレームと同様の CALL 'CBLTDLI' または EXEC DLI コマンドを発行することができます。IMS/DC についてもトランザクション定義を設定することによって MFS 画面を経由した COBOL プログラムのテストが可能となります。

稼働環境

› Windows

※ Enterprise Test Server の稼働環境について、最新のサポート状況は弊社ホームページでご確認ください。



Modernization. Without Disruption.™

AMC ソフトウェアジャパン合同会社
https://www.amc.rocketsoftware.co.jp

記載の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
ASJ-ETS-2504-00MN | © 2025 Rocket® Software

© Rocket Software, Inc. or its affiliates 1990–2025. All rights reserved. Rocket and the Rocket Software logos are registered trademarks of Rocket Software, Inc. Other product and service names might be trademarks of Rocket Software or its affiliates.